



「骨寺通信」

第111号
新年号

発行:本寺地区地域づくり推進協議会

岩手県一関市巖美町字若神子241-2 骨寺村荘園交流館内



賀春

第16回 骨寺村荘園 中尊寺米納め



明けましておめでとうございます

旧年中は、当協議会の取り組みに対して、多大なるご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。衷心より感謝と御礼を申し上げます。
さて、本年は、世界遺産拡張登録への推薦書記載に関しての区切りの年と言われております。また、来年度には当協議会が設立二十周年の節目となることもあり、今後の本寺地域のあり方を見据えた大事な一年になると思います。
活力ある地域づくりを目標に、新たな年も様々な取り組みを行って参りますので、より一層のご支援ご協力をお願いいたしますとともに、皆様の益々のご健勝を祈念し、年始にあたっての挨拶といたします。

本寺地区地域づくり推進協議会

会長 五十嵐 正一

師走の恒例行事、第16回「中尊寺米納め」が、12月11日(日)開催されました。

米オーナーさん、一般参加、地元住民、巖美中学校生、岩大生、関係機関の皆さんを合わせて、総勢78名の隊列が、駒形根神社を午前9時に出発。慈恵大師拜殿での道中安全祈願の後、平泉町役場や沿道の皆さんの熱烈な歓迎を頂きながら、中尊寺本堂での貢納式まで、無事に達成することができました。

今年も、佐藤一関市長、青木平泉町長にもご参加頂き、改めてこの行事が骨寺村と平泉を繋ぐ重要な役割も担っていることを再確認いたしました。

ご参加頂いた方々、師走の多忙な中ご対応頂いた中尊寺執事長菅原光聴様はじめ中尊寺の皆様、心より感謝と御礼を申し上げます。



土水路整備実施

秋の土水路整備作業が、11月19日(土)、地元住民、佐藤市長をはじめとした関係機関、建設・水道工業の協力業者の皆様との協力で、約150人体制で実施されました。

営農の継続には不可欠な、総延長23kmに及び土水路の維持管理は、地元住民だけでは賄いきれない、大変な重労働です。作業に参加された方々に感謝申し上げます。

また、高齢化などに伴い、地元住民の参加者が減少傾向となつています。今後の大きな課題として捉えています。



また、高齢化などに伴い、地元住民の参加者が減少傾向となつています。今後の大きな課題として捉えています。

巖美・ひかりの森事業 ～イルミネーション点灯～



「巖美・ひかりの森」事業として、今年で2回目となる若神子亭会場でのイルミネーション点灯を、1月下旬まで開催しています。

材料価格の高騰のため、1月より、若神子亭レストランのお食事メニューを若干値上げいたしました。

何卒ご理解頂き、変わらぬご愛顧のほどお願いいたします。